



No.223

令和8年8月1日発行

滑 川 市 議 会

☎ (076) 475-2120

E-mail: gikai@city.namerikawa.lg.jp

(タイトル：滑川高校3年生 鬼原莉奈さんの作品)

手話通訳を本格実施しました

滑川市議会では、聴覚障がい者に開かれた議会を実現するため、令和5年3月から令和6年3月までの間、定例会（初日）における、市長提案理由説明の手話通訳を試行的に実施してまいりました。

導入について検討した結果、本年6月定例会以降、市長提案理由説明の手話通訳を本格的に実施することとなりました。



令和8年6月定例会一覧

開会 6月8日
閉会 6月22日
会期15日間

○本会議（主な内容）

6月8日 会期の決定

提案理由説明

補足説明

代表質問・一般質問

一般質問

議案の委員会付託

請願及び陳情の委員会付託

委員長報告・質疑・討論・採決

追加提案

提案理由説明・採決

議員提出議案

提案理由説明・質疑・討論・採決

議員派遣

閉会中の継続審査

○委員会

8日・22日

議会運営委員会

16日・17日

総務文教消防委員会

16日・18日

産業厚生建設委員会

○議案の審議結果

予算（原案可決）

条例（原案可決）

その他（原案可決）

その他（原案承認）

人事（原案同意）

請願（採択）

陳情（不採択）

議員提出（原案可決）

計 22件 1件 1件 1件 8件 1件 1件 6件 3件

議会を傍聴しませんか。次回の定例会は9月です。



なめりかわ 市議会だより

◆令和8年6月定例会

令和8年度一般会計補正予算(第1号)(3億313万8千円)
を含む市長提出議案19議案を可決または承認及び同意

本会議

◇6月8日に本会議を開き、まず会期を22日までの15日間と決めた後に、令和8年度一般会計補正予算及び条例等の市長提出議案11件及び報告5件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当課長等から議案の補足説明がありました。

◇15日、16日は代表質問及び一般質問が行われ、13名の議員が市政一般に対する質問並びに提出諸案件に対する質疑を行った後、市長提出議案を所管の各常任委員会へ、「請願第2号」を総務文教消防委員会へ、「陳情第1号」を産業厚生建設委員会へ付託しました。◇最終日の22日には本会議を再開し、総務文教消防・産業厚生建設の各常任委員長からそれぞれの付託議案等の審

査結果の報告がありました。

続いて討論が行われ、「議案第29号」に対する反対討論が古沢議員から、「議案第30号」に対する反対討論が大浦議員からありました。

「議案第29号」及び「議案第30号」については申し出があったことから分離して採決が行われ、いずれも賛成多数で可決となりました。残る市長提出議案9件については一括採決の結果、各常任委員長の報告のとおり賛成全員で可決または承認されました。

次に、請願及び陳情について採決が行われ、「請願第2号」については賛成多数で採択、「陳情第1号」については賛成少数で不採択となりました。

続いて、市長から人事案件として、8議案が追加提案され、農業委員会委員の任命について、いずれも賛成全員で同意としました。

その後、議員提出議案1件の提案

理由説明があり、議員提出議案第1号については賛成全員で可決されました。

最後に議員派遣及び閉会中の継続審査を決定して、6月定例会を閉会といたしました。

滑川市農業委員会委員

松井 滋樹(領家町)
坂東美喜男(中野島)
竹花 範義(大掛)
浦田 弘(大榎)
臼井 朝夫(大崎野)
佐々 裕成(高柳)
新村 剛(沖田新)
中島おとめ(田中町)

常任委員会での審査 各常任委員会への付託案 件はP11をご覧ください。

総務文教消防委員会

付託された5議案については、慎重審査の結果、賛成全員で原案のとおり可決または承認すべきものと決定しました。

「請願第2号」については、6月16日に委員会を開催し、請願者の趣旨説明を行うことを決定しました。6月17日開催の委員会では、請願者からの趣旨説明及び当局からの見解・意見を聞き、委員間協議を行いました。慎重審査の結果、賛成全員で採択とすべきものと決定しました。

委員会での主な質疑

☆議案第21号 令和8年度滑川市一般会計補正予算(第1号)

▽滑川イノベーション推進事業費の情報伝達実証実験業務委託の詳細について。

▽令和7年度に行ったスマートディスプレイ設置の実証実験を踏まえて、即時に情報を配信できるようにするなど、より便利になるよう行うものである。

▽地域子育て支援センター運営費の空調更新の地方債について、こども・子育て支援事業債の充当率は90%であり、交付税措置率は機能強化の場合は50%、新築、増築の場合は30%であるが、どちらになるのか。

産業厚生建設委員会

同総会
(富山市)

永年勤続表彰

第102回全国市議会議長会において、議員20年以上特別表彰として、岩城晶巳議員、原明議員が表彰されました。

定例会初日の6月8日に、議場にて表彰状の伝達式が行われました。



23日	期成同盟会総会
17日	富山県東部消防組合議定例会 (魚津市)
15日	議会報編集委員会 (富山市)
13日	富山県日台友好議員連盟理事會・總會 (魚津市)
10日	議会報編集委員会 北アルプス横断道路構想推進協議總會 (魚津市)
9日	とやま石川県人会「つるぎクラブ」 (富山市)
24日	産業厚生建設委員会協議會 福島県田村市より行政視察
27日	上市町議会との親善交流会

代表質問

6月定例会では13名の議員が質問を行い、50項目について市当局の見解を求めました。
質問と答弁の主な内容は以下のとおりです。
(すべての質問等詳細を記録した会議録は、9月中旬頃までに、市立図書館に配付する予定です。ご利用ください。また、滑川市ホームページの市政情報には、議会会議録検索システムが搭載されており、ご利用ください。)

代表質問



1 富山地方鉄道鉄道線について
2 滑川高校について
3 滑川産業フェスについて
4 鳥獣被害対策について
(会派＝会派自民) 高川正樹 議員



Q 富山地方鉄道鉄道線について
多様な思い、意見等をいただいた中で、滑川市としての考えは。

A 水野市長 市民の声を政策に生かしていくことが何より大事だと考えている。これまで市民との意見交換会、これは県内で最も多い12回開催した。今後検討材料とされている社会的便益は大事な観点である。道路と鉄道のベストミックスが、社会的便益、コストを考

える上で最も重要で、持続可能な公共交通ネットワークを構築することが重要と思っている。さらに今現在実施中の市民アンケートの結果も参考にしたい。
Q 県立高校の在り方を考える新時代とやまハイスクール構想検討会議での発表を含め、滑川高校存続に向けて市としてできることは。

A 水野市長 今後、滑川高校が地域共創型の高校として再構築されることを希望している。市内に高校が存在して、生徒が行き交うことが、教育面だけではなく、地域の活性化、次世代の育成、地域の一体感の構築などにおいて重要である。市としても、滑川高校の存在を大切にして、高校と市民や企

業、行政等が一体となって取組を進めた上で、滑川高校が地域にとって必要不可欠な機運をさらに醸成したい。
Q 10月開催に向けた滑川産業フェスはどのようなイベントか。

A 長崎産業民生部長 滑川産業フェスは、子どもたちに様々な職業体験の機会を提供するとともに、本市の食・産業などの魅力を来場者にPRし、地元産業の魅力を再認識していただき、本市産業のますますの振興を図ることを目的とするもので、10月17日土曜日、18日曜日、2日間の3日間、滑川市総合体育センター及び周辺において開催する。

Q 昨年に続き、全国的に熊による被害が発生している。滑川市の対策は万全か。

A 長崎産業民生部長 熊の出没情報に寄せられた際、市職員や警察による現地確認や見回り、鳥獣被害対策実施隊への捕獲依頼、出没地区の町内会への連絡、防災行政無線やホームページ、LINE等のSNSによる市民への注意喚起を行い、市役所内の関係各課との情報共有に努めている。

代表・一般質問での質疑応答における当局とのやりとりのうち、どの部分を掲載するかについては、各質問者が選んでいます。

代表質問



3 2 1

子どもたちの安全と福祉、教育現場の環境改善について
学校施設・設備の安全管理と環境整備について
平野部における鳥害（アオサギ被害）対策について
（会派「志真会」） 吉森 真人 議員



Q 児童手当の支給においてギャンブル依存症等により受給者変更を行う場合、離婚の意思表示及び別居による住民票の異動は必須か。

A 高倉教育委員会事務局長 このども

家庭庁事務連絡において、離婚の意思表示については、離婚協議中であることを必須とするものではないこととしている。別居による住民票の異動についても、父母のうち一方がギャンブル等の依存症等のために家計や児童の養育について顧みることが少なく、児童の監護や扶養責任について熱意が疑われる場合には、同居優先によらず受給者変更が可能としていることより、必須としていない。

Q 小中学校の体育館へのエアコン整備について中学校２校及び、西部小、東部小の進捗状況、並びに入札、工事時期のめどを問う。

A 高倉教育委員会事務局長 中学校

２校については設置工事の請負契約を締結したところである。一方で、昨今の中東情勢に伴う供給網の混乱、原材料不足等による納期の長期化等の影響から、完成は令和９年２月下旬を予定している。小学校２校については交付金の制

約で令和８年度中に工事を完成する必要があるため、実施設計完了後直ちに入札を行い、年度内に整備を完了する予定としている。

Q 学校間の平等な教育環境の確保及び今後の物価、資材高騰リスクを見据え、残り５校の空調設備を令和９年度に一斉導入を判断する考えはあるか。

A 高倉教育委員会事務局長 学校間

の教育環境の公平性の確保や今後の建築資材の高騰リスク、残り５校の事業費や財源を精査し、その結果、来年度の交付金要望調査に要望したところであり、令和９年度で残る小学校５校の空調設備を一斉に整備する予定である。

Q 柳原、機原神社のアオサギについて、被害拡大による市のイメージ失墜や衛生リスクを防ぐため、氏子や町内会への技術的な伴走支援をしていく考えはないか。

A 長崎産業民生部長 市のほうに

は専門の知識を有する職員がいなことから、必要に応じて業者を紹介する等、これまでと同様に市としても相談に応じたい。

・繰越明許費について

一般質問



3 2 1

SDGsについて
部活動の地域移行について
公共施設等総合管理計画について



Q SDGs未来都市計画にある、2030年の滑川市のあるべき姿の実現に向けた最大の課題はどのような認識しているか。

A 水野市長 SDGs未来都市に

選ばれたことは知っているけれども、どういう目標に向かって何をやっているのか、そういった市からのPR、周知も含めて啓発活動も大事だと思っている。それを基に、市民一人一人のSDGs達成に向けた意識の向上が最大の課題であると認識している。

Q 部活動の地域移行について、保護者の経済的負担及び送迎負担への対応について問う。

A 高倉教育委員会事務局長 国の部

活動改革推進事業等の補助事業を活用して、休日の地域クラブ活動における指導者報酬や保険料は市の負担とするともに、民間の認定地域クラブ活動団体に対してもそれ相当分を補助するほか、施設使用料を無料にすることで、保護者負担の軽減に努めている。大会や練習試合等での会場への移動に際して保護者に対して過剰な負担とならないよう、観光バスや公共交通の利用促進について、他自治

体の先進事例も参考にしながら、持続可能で公平な体制の構築に努めていきたい。

Q 公共施設のリニューアルの優先順位はどのような基準で決定していくのか。

A 水野市長 安全性、利用人数、

経済性、これらを総合的に勘案しながら、優先順位を考えていく。

Q 市民会館大ホールと市庁舎との複合化についての検討は、いつ結論を出すのか。

A 水野市長 今後の人口減少や厳

しい財政状況、維持管理のコストの増大などを考慮すると、公共施設の在り方について、集約化、複合化という視点から検討していくことが必要と考え始めた。２期目の任期中に今後の基本的な方向性を具体的に示したい。

Q １年遅れるたびに資材が高くなっている中で、最高執行責任者が決断をしないといけないテーマである。任期中と言わず早く示していただきたい。

A 水野市長 スピード感を持って、

最後は覚悟を決めて判断をしたい。

尾崎 照雄 議員

一般質問



2 1

ベイエリアの発展について
多様性への配慮と機能性について

青山 幸生 議員



Q ベニズワイガニ加工処理施設の
外壁や屋根、シャッター、ドア
等の修繕を行うことにより、施設
の安全性や作業効率、衛生管理面
の向上がどのように図られるのか
また、今回の修繕により今後どれ
ほどの期間、当該施設を安定的に
維持、活用できる見込みなのか、
具体的な見通しを問う。

A 柿沢副市長 滑川漁業協同組合
が所有するベニズワイガニ加工処
理施設については、平成3年に完
成し、建設から35年経過している
令和7年12月及び令和8年1月の
暴風雨にて、外壁の剥がれ等が顕
著となり、一刻も早い補修が必要
な状況であるため今回711万円の予
算を計上した。施設活用の見通し
だが、今回の補修により、今後10
年程度は適切な管理の下、使用い
ただきたいと考えている。

Q 現在ミュージアムに入ってい
る加工業者は1社のみだが、市内
にはほかにもすばらしい業者が多
くおられる。物販スペースを広げ
れば埋められるポテンシャルは滑
川にまだまだあるので、タラソピ
ア跡地を有効活用するためにも、
物販エリアを新増設することは検

討できないか。

A 柿沢副市長 指摘があったとお
り、滑川市には数多くの事業者が
おられる。物販スペースを確保で
きる場所が限られているため、限
定して販売するということはあつ
たが、実際には十分なスペースが
ある。したがって、より多くの地
元事業者に商品を販売してもら
う場を設けることも、大事なことだ
と考える。これらの点を活かし、
物販施設の拡充について真剣に検
討を進めていく。

Q 現在の中学校における多目的
トイレの設置率及び、車椅子対応
も含めたバリアフリー化の現状は、

A 高倉教育委員会事務局 中学校
2校のうち、1校は校舎内、校舎
外に多目的トイレを設置しており、
もう1校は校舎外にのみ設置して
いる。校舎内に限定すると、設置
率は50%となる。

Q 災害時は体育館側、通常時は
生徒側に近い多目的トイレがある
ことが望ましいがどうか。

A 高倉教育委員会事務局 設置に
かかる費用、構造上耐えられるの
か、そういったことも整理しなが
ら前向きに検討していきたい。

一般質問



4 3 2 1

見守りGPS購入の補助金について
放課後児童クラブの活動費について
補助金について
公園の整備及び管理について

高橋 悟 議員



Q 児童用見守りGPS購入の際、
保護者への補助金を市から負担で
きないか。

A 高倉教育委員会事務局 児童用
見守りGPS端末については、安
全確保を図る上で有効なツールの
一つであると認識しているが、基
本的には各家庭において必要に応
じて購入していただくべきものと
考えている。市としては、引き続
き関係者と協力しながら、登下校
時の見守りや通学路の安全確保に
努めたい。

Q 児童の登下校に見守り活動を行
うパトロール隊の活動費（隊員の
災害保険やユニホーム購入費等）
を市から助成する事はできないか。

A 高倉教育委員会事務局 活動費
の助成については助成対象経費の
範囲、対象となる団体の活動内容
の確認、継続的な財源確保など、
検討すべき課題もある。今後、学
校安全パトロール隊の活動状況や
現在の費用負担実態などを確認し、
近隣自治体の取組も参考としなが
ら、活動費の助成について検討し
たい。

Q 放課後児童クラブに使われて
いる送迎用車両を新たに購入する

場合の費用に補助できないか。

A 高倉教育委員会事務局 現在、
保育所の送迎用車両の補助金、補
助制度はあるが、放課後児童クラ
ブの送迎用車両については対象外
となっている。今後、運営法人と
協議し、運行状況や利用実態を把
握した上で検討していきたい。

Q 堀江自然ふれあい広場の樹木
及び草の管理が皆さんに思われる。
整備、管理の状況を問う。

A 北島建設部長 地球温暖化や気
候変動により、草木の繁茂が従来
より早まっている。今後は草木の
手入れを行う時期や草刈りの回数
を再検討し、年間を通じて公園利
用者が気持ちよく過ごせる環境を
維持できるよう努めるとともに、
植樹された苗木が一本でも多く定
着するよう樹木の生育状況を注視
したい。

Q 美しヶ丘町内横の街区公園の
整備及び管理の状況を問う。

A 北島建設部長 定期的に除草剤
の散布や草刈りを行うなど管理に
努めてきているが、今後の整備に
ついては、現状や住民の意見も踏
まえて、改めて慎重に検討する必
要があると考えている。

一般質問



2 1

国民健康保険税条例改正について
「富山地鉄本線」について

古沢利之 議員



Q 国民健康保険税は、地方税法で国民健康保険事業の費用に充てるための「目的税」とされていると認識しているが違うか。

A 石川健康福祉部長 地方税法では使途が決められている「目的税」とされている。

Q 今回、国民健康保険税に上乗せして、子ども・子育て支援金を徴収するとされる。国民健康保険の目的と違うのではないか。医療保険に上乗せして徴収することの妥当性について見解を問う。

A 石川健康福祉部長 国では新たな徴収制度を設けるよりコストを抑えられるとし、公的医療保険の持続可能性を高めると説明している。「目的税」の範囲が拡大している点は課題として認識しているが、国の方針に基づき丁寧に説明していく。

Q 新たな子ども・子育て支援金では、18歳未満被保険者への均等割は免除され、その分を18歳以上被保険者の均等割に加算される。健康保険税自体の18歳未満の均等割も、国の責任で免除すべきだ。

A 石川健康福祉部長 重要な課題と認識している。財源確保には国

庫補助拡充が不可欠で、国に要望していきたい。

Q さらに踏み込んだ対応を取るべきではないか。

A 水野市長 いろんなところでこういう話が出ると思うので、全国市長会等で私なりに努力したい。

Q 富山地鉄本線の意見交換会に、参加者が少ないと市長は発言されたが、取組に反省点はないか。

A 水野市長 昨年からの意見交換会では、チャラシ、ホームページ、公式SNS等で周知を図った。参加促進の取組が多少不十分であった点はお詫びしたい。

Q 報道では、盛んに並行区間の扱いが焦点とされ、並行区間地域の問題と捉えられるのを危惧している。再構築検討会では「本線存続、首長間に温度差」と報道されている。市長の真意を問う。

A 水野市長 知事は地方鉄道は県東部の背骨と言われた。ぜひ県東部全体の社会的便益を出してもらい、対するコストも沿線自治体で議論すべきだ。鉄路と道路のベストミックスを考えたい。

その他の質問
・小学校の学校給食について

一般質問



令和8年度滑川市一般会計補正予算について

大浦豊貴 議員



Q 物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金を活用して一般家庭及び事業者に対し、水道料金及び下水道使用料を3か月減免する。世帯給付やプレミアム付商品券の発行等の支援もある中、水道料金及び下水道使用料の減免に至った経緯を問う。

A 北島建設部長 水道料金及び下水道使用料の減免は使用者全体に効果が及ぶことから、プレミアム付商品券等では給付の届かなかった住民、特に事業者にも及ぶ広範かつ直接的な経済支援であると考えている。本交付金は物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対し、地方自治体が地域の実情に合わせ必要な支援をきめ細かく実施することが可能となっている。

交付金を活用した水道料金及び下水道使用料の減免は、生活者支援、事業者支援という複数の性質を有する支援施策であり、物価高騰の影響を緩和する上で効果的な施策であると判断した。

Q 減免対象と減免期間に対する根拠について問う。

A 北島建設部長 減免の対象者は、官公庁を除く世帯と事業所として

いる。減免対象は、水道は基本料金とメーター使用料、下水道は基本料金とし、契約者が等しく負担する金額であるものに限った。減免期間を3か月としていることについては、交付金の所定の予算の範囲内で最大限に減免可能な期間を設定した。

Q 下水道使用料も含め、対象者はどの程度の減免額になるのか。

A 北島建設部長 水道が13ミリの場合、上下水道合わせて3か月間で5千760円。20ミリで5千859円となる。

Q 下水道を接続していない世帯で物価高騰対策支援を受けられない市民との平等性を問う。

A 北島建設部長 本市の令和7年度末時点における水道普及率は97・7%、下水道普及率は95・6%であり、いずれも市内全域に普及しているサービスであることから、基本料金、メーター使用料を減免した場合、市内の大半の住民、事業者に恩恵があるものと考えている。このため、プレミアム付商品券等の発行と比べても、著しく不公平感がある施策ではないと捉えている。

一般質問



2 1

用水路の維持管理について
市内における生活道路・通学路につい

谷崎潤一 議員



Q 市道や線路下の暗渠の点検頻度を問う。

A 北島建設部長 市道や線路の下

の暗渠の定期的な点検は市では行っていないが、地元町内会や市民からの通報があった際は、その都度現地確認を行っている。

Q 用水路協の所有者不明の樹木などの伐採等は市で対応できないのか。

A 北島建設部長 市が管理する用水路に隣接する私有地の樹木について、土地の所有者が適切な管理を行うべきものであると考えている。周辺環境や公共施設への影響を防ぐため、まずは所有者に対して適切な剪定や伐採を行うよう指導、要請を行うことが基本であると考えている。

Q 危険箇所や暗渠の掃除は市で対応できないのか。

A 北島建設部長 危険な箇所への対応については、地元町内会などから要請があった箇所を個別に確認し、地元の方が行うには危険である場合には市による対応も検討したい。

Q 地域住民が通る道に面した用水路の危険箇所に柵などの対策はできないのか。

A 北島建設部長 地域住民が通る道路に面した用水路の安全対策は、重要な課題と認識しているが、全ての水路への柵、蓋設置は費用、維持管理の観点から困難であることから、限られた予算の中で優先順位をつけながら対策を進める必要があるものと考えている。通学路を優先的に対策する方針としており、転落防止柵の設置や蓋がけが必要となった箇所の対策を重点的に検討していきたい。

Q 沖田踏切道拡幅工事開始予定日と工事期間、工事内容を問う。

A 北島建設部長 踏切拡幅工事は令和9年3月に着手し、令和11年3月の完成を予定している。踏切拡幅工事については、踏切幅を現在の幅6.5メートルから幅11.7メートルへ拡幅するため、通行止めが必要な工事になる。通行止め期間については、沖田川改修工事の際に、今年10月頃に1か月程度実施し、その後踏切拡幅工事に伴い令和9年3月から令和10年12月頃までの約1年10か月、通行止めが行われる予定である。

一般質問



3 2 1

消防団の力向上モデル事業について
除雪管理システム(GPS)導入について
デマンド交通「よぶマイカー」と「のる my car」の運行体制について

安達真隆 議員



Q 補助金を活用し、300万円という予算を投じてPR動画を作成するとのことだが、確実に実を結ぶ戦略が必要と考える。今回作成するPR動画の具体的な内容と、どのような層をターゲットとし、どのような媒体で発信していくのか。

A 石川総務部長 PR動画の内容は、現役の若手消防団員等の出演を想定している。紙媒体では届きにくい情報を、団員へのインタビュなどを通して消防団活動の内容や消防団の魅力などを聞き取り、視聴者に分かりやすく伝わる内容にしたい。ターゲットは主に10代から30代の若年層のほか、消防団の活動を知らない方などで、SNSでの配信、市や地区公民館等における各種イベントでの活用、商業施設などのデジタルサイネージでの発信も含め、より多くの方々の目にとまるよう努めたい。

Q GPSによる除雪のリアルタイムの稼働状況や路線の除雪完了予測などを、市ホームページやLINE公式アカウントを通じて市民に分かりやすく公開し、利便性向上につなげる考えはあるか。

A 北島建設部長 他自治体における公開事例や市民ニーズ、費用対効果などを十分に調査、研究し、どのような情報をどのような手段で公開することが最も効果的で市民の利便性に資するのか、段階的に検討を進めていきたい。

Q 10月からの「よぶマイカー」の第2実証実験で「のる my car」の運行本数を減らす、日中帯を完全にデマンド交通に一本化するなど、踏み込んだ路線編成に向けた具体的な考えはあるのか。

A 柿沢副市長 まだ5か月という段階であり、1年間は状況を見たりニーズの把握をしたい。運行体制の最適化及び役割分担については「のる my car」及び「よぶマイカー」の利用状況や他自治体の事例を収集しながら、滑川市の実情に応じた最適な役割分担を検討している。通勤通学時間帯は「のる my car」で大量輸送に対応し、日中の時間帯の散在的な移動ニーズは「よぶマイカー」で対応する、こうした提案については、確かに納得できる提案であると考えている。今後、様々な実証運行を重ねながら、最適な役割分担について、検討していきたい。

一般質問



4 3 2 1

子ども・子育て支援金について
要介護・要支援認定について
家庭ごみ有料化について
学校教育の充実について

水橋 真治 議員



一般質問



3 2 1

教育について
オンデマンド交通実証実験事業について
食料品減税による影響について

岩城 晶巳 議員



Q 現在物価高騰が家計を直撃しており、さらに住民負担を強い子ども・子育て支援金制度について、本市として住民にその妥当性を説明したほうがいいのではないかと。

A 石川健康福祉部長 物価高騰による家計圧迫が継続する中で新たな負担増である。市民の皆様が制度を理解し、納得していただくことが制度の持続性を高める上で不可欠である。今後も、国の制度設計や指針を踏まえつつ、市として市民の皆様に分かりやすく丁寧に説明していきたいと考える。

Q 要介護・要支援認定の効率化の必要性について、どのように考えているのか。

A 石川健康福祉部長 介護認定審査に際し、タブレット端末を審査会の委員に貸与し、効率化・ペーパーレス化などに取り組んでいる。しかし、訪問調査の日程調整や主治医意見書の作成といった外的な要因が時間を要する主なものとなっているため、現状は、大幅な効率化をこれ以上に図ることは難しい。今後、システム更新などに際し、より効率的なシステムの導入なども考えていきたい。

Q 家庭ごみ有料化の対象品目、負担軽減措置、世帯負担額の試算を問う。

A 長崎産業民生部長 有料化とする場合、対象品目は焼却施設や最終処分場の負担を軽減するため、ごみ袋に入らない大型ごみを含む燃やせるごみと燃やせないごみを原則対象とする。一方で、資源ごみについては全て対象外として差別化を図る。また、子育て世帯や介護世帯等の負担を軽減する予定である。世帯負担額は、1リットル当たり1円として換算し、大人2人、子ども2人の標準世帯で年間3千600円と試算している。

Q 子どもたちが、将来滑川に住みたいと思えるふるさとへの愛着と誇り、感動や感謝の心を育成するために、どのような学習活動を行っているのか。

A 上田教育長 子どもたちの将来の定住を促進し、地域活性化の基盤となる重要な課題と認識している。ふるさとを愛する気持ちを持つ子どもを育てるためには実物を見て触れて、感じて、話を聞いて思いをはせるなどの体験が大切であり様々な学習課題を展開している。

Q 市内で日本語の理解不足の児童・生徒は何名程度いるのか。

A 上田教育長 市内の小中学校6校に日本語の指導が必要な児童・生徒が21名在籍している。昨年度の10名から徐々に増えている。

Q 日本語の理解不足で授業を受ける子どもたちは苦痛だなどという思いで見ている。どのような支援を行っているのか。

A 上田教育長 本市において日本語指導が必要な児童・生徒が倍増していることから、本年度は県教育委員会から日本語指導教員として1名を配置。その教員が市内の小中学校に出向き指導している。また、県から派遣される外国人相談員による指導もある。さらに、県教育委員会が配置している外国人児童生徒教育スパーバイザーによる実態把握と個別指導計画作成の助言をもらっている。市の教育センターでは教員研修として受入れ時の対応や日本語指導について研修している。今後も一人一人の実態に応じた支援が充実するよう努める。

Q 滑川市内の学校は敷地に自由に入れる。敷地内に防犯カメラは設置されているのか。

置されているのか。

A 高倉教育委員会事務局長 現在小中学校4校及び中学校2校において玄関先をはじめ校舎周辺に設置している。未設置3校及び故障中の1校については、本年度中に設置更新する。

Q 「よぶマイカー」がこの秋から拡充される。どのようなになるのか。

A 柿沢副市長 通勤通学時間帯への対応を中心に拡充する。

Q 財政的なことを考えれば「のるmy car」「よぶマイカー」2つ実施しているのは効率が悪いと思うが。

A 柿沢副市長 併用運行は財政面から課題もあると考えている。実証運行の中で少しずつ改善していくことを考えており、その中で、市民にとっていいすみ分けができる運行体制をつくっていききたい。将来的な話になるが、滑川市と魚津市双方のエリアで運行を可能にすることも考えている。

Q 食料品減税における滑川市への影響は。

A 石川総務部長 影響が出る分は100%措置をしていたきたいという認識で動向を注視している。

一般質問



5 4 3 2 1

防犯カメラについて
奨学金制度について
滑川市の広報と同時に配布されるチラシについて
空き家について
婚活事業について

藤田 紀子 議員



Q 市内に防犯カメラは何台あるか。

A 長崎産業民生部長 市で把握しているものとして、市設置のカメラが99台、市の補助金を活用し、町内会が設置するカメラが25台ある。

Q 小中学校内、駅周辺等で防犯カメラの台数を増やしてはどうか。

A 長崎産業民生部長 富山県警が町内会等へ防犯カメラを貸し出す事業を行っている。その防犯カメラを町内会等が買い取る場合、市から1台当たり上限5万円の補助金を交付しており、事業の周知を図っている。

Q 母子家庭で大学に合格した生徒へ入学金と4年間の学費を支援してはどうか。

A 高倉教育委員会事務局長 大学生等を対象とした返還不要の給与型と返還が必要な貸与型の2つの奨学金制度を設けている。日本学生支援機構の給付・貸与奨学金、社会福祉協議会の生活福祉資金貸付制度と併用できるため、大学入学時にまとまった金額を一括で借り入れることも可能である。

Q 広報と同時に配布される音楽会や講演会等のチラシは回覧板で

回してはどうか。

A 長崎産業民生部長 各町内会に配付不要か希望調査を実施したい。

Q 10年以上放置されている空き家所有者に年に一度アンケート調査を実施してはどうか。

A 北島建設部長 対象者や頻度については調査内容や費用対効果を踏まえながら定期的に行えるよう検討していきたい。

Q 管理不全な空き家所有者に対して市として対策はしているか。

A 北島建設部長 管理がなされていない所有者に連絡し、改善や修繕を促している。改善が見られない空き家所有者へは指導・勧告を行っている。

Q 空き家所有者に対して賃貸か売却か解体か促してはどうか。

A 北島建設部長 所有者に対し賃貸、売却、解体に係る情報提供や支援を行っていききたい。

Q 婚活事業において参加者の居住地域を上市町、立山町、舟橋村、富山市と拡大してはどうか。

A 石川総務部長 新たな枠組みでの婚活事業について、連携中枢都市圏内で、参加者層の多様化とその事業効果を含め協議していく。

一般質問



2 1

GXについて
少子化について

上田 昌孝 議員



Q GXはどんな形で進んでいるか。

A 水野市長 本市では2050年の温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするゼロカーボンシティ宣言を行ったところであり、積極的に取り組を進めている。令和7年度には、本市で再生可能エネルギーを拡大することに向けて、市内で小水力発電所の新設に向けた事業性の可能調査を行う補助事業であったり、公共施設での太陽光発電設備の導入可能性調査を実施してきた。また、小水力になるが、早月発電所をはじめとした市内の発電所から生み出される電気を活用して自分のところで消費する電気の地産地消という形で、この電気料金メニューを「はやつき水の恵み電気」と名付けて、北陸電力、早月川電力株式会社と連携しながらはやつき水の恵み電気を売り出している。民間にも使っていたかどうかということでは、現在4社に使っていたという。北陸建工グループは太陽光発電のほか、足りない部分をはやつき水の恵み電気で購入など、100%自然エネルギーの取組を進めている。

Q 合計特殊出生率は2.1を割っている。

る。子どもたちの将来は大丈夫？
学校で子どもたちに考えさせよう。
市町村間での人のとりあいは大問題。

A 上田教育長 現在、学校では次のような取組を進めている。第一には、保健体育の授業を通じて、男女の体の仕組みの違いを知り、異性を思いやる態度や相手の立場を尊重する心を育てている。第2に、家庭科の授業を通じて家族の役割や支え合いの大切さについて学習する。第3に小学校においては助産師を講師に招いた「命」の授業を毎年度行っている。命の尊さや家族の温かさを学ぶことで生まれてきてよかったと実感し、自他のよさを認めて、たくましく生きようとする心を育てている。これらの学習を進めるに当たって、とやまの小学生ライフプラン・とやまの中学生ライフプランという冊子が県の教育委員会から配付されているため有効に活用したい。なお、子どもたちの指導に当たっては、それぞれ異なる家庭環境への配慮や多様性への尊重を前提として進めていきたい。

請願・陳情・要望書

件名及び提出者	処理結果
①請願（意見書提出要請）（１件）	
・ 非核三原則の堅持を求めるための請願	採 択
日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める富山の会	
富山県被爆者協議会 会長 小島 貴雄	議会運営委員会一致
原水爆禁止富山県協議会 代表理事 中山 洋一	（議員提出議案第１号へ）
非核の政府を求める会 代表世話人 水谷 敏彦	
②陳情（２件）	
１ 陳情書	不採択
武田 茂	
２ 公立中学校における平和教育の政治的中立性と安全確保を求める陳情	
	全議員へ参考配付
学校教育の中立性と安全確保を求める富山県民の会 代表 荒井 雅夫	
岩城 宗寿、共同提出者 前参議院議員 浜田 聡	
③要望書（１件）	
・ mRNAワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出を求める陳情書	
	全議員へ参考配付
宇井 淳	

議案の審議結果

議案番号	議案内容等	委員会	採決結果
議案第21号	令和8年度滑川市一般会計補正予算(第1号)	総産	原案可決
議案第22号	令和8年度滑川市水道事業会計補正予算(第1号)	産	原案可決
議案第23号	令和8年度滑川市下水道事業会計補正予算(第1号)	産	原案可決
議案第24号	滑川市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第25号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	総	原案可決
議案第26号	滑川市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第27号	滑川市地方活力向上地域における固定資産税の課税免除又は不均一課税に関する条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第28号	滑川市子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第29号	滑川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第30号	財産の無償譲渡及び無償貸付について	産	原案可決
議案第31号	地方自治法第179条による専決処分の承認を求めることについて 専決第7号 令和7年度滑川市一般会計補正予算(第9号) 専決第8号 滑川市税条例の一部を改正する条例の制定について	総産	原案承認
議案第32号～第39号	滑川市農業委員会委員の任命について	—	原案同意
請願第2号	非核三原則の堅持を求めるための請願	総	採択
陳情第1号	陳情書	産	不採択
議員提出議案第1号	非核三原則の堅持を求める意見書	—	原案可決

委員会欄は、その案件が付託された委員会を表しています。記載のない場合は、委員会に付託されていません。

※委員会…総：総務文教消防委員会、産：産業厚生建設委員会

賛否一覧表

議 案	会 派				会 派 自 民				無 会 派 等						
	議員名														
	吉森真人	安達真隆	青山幸生	竹原正人	藤田紀子	高川正樹	原明	岩城晶巳	高橋悟	谷崎潤一	水橋真治	大浦豊貴	尾崎照雄	上田昌孝	古沢利之
議案第21号から議案第28号まで及び議案第31号	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●
滑川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について															
議案第30号	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
財産の無償譲渡及び無償貸付について															
議案第32号から議案第39号	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
滑川市農業委員会委員の任命について															
請願第2号	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
非核三原則の堅持を求めるための請願															
陳情第1号	○	○	○	/	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	○
陳情書															
議員提出議案第1号	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
非核三原則の堅持を求める意見書															

※賛成者は○、賛成でない者は●、欠席者は欠としています。議長は採決に加わらないため「/」としています。

意見交換会の開催を予定しています!!

日 時 令和8年10月9日（金）
午後7時から（1時間半程度）
場 所 滑川市役所
東別館3階 大会議室
対 象 保育所、認定こども園、幼稚園の先生方や保護者の皆様等



昨年の意見交換会の様子



田中小学校、寺家小学校の6年生が

議会の傍聴に訪れました

6月15日に田中小学校の6年生35名が、翌16日に寺家小学校の6年生47名が社会科の授業として、代表質問及び一般質問を傍聴しました。
その感想をいくつか紹介します。
(原文のまま掲載しています)

・意見を述べていた方達はそれぞれ学校のことに話して話合っていたし、子どもたちの安全や体験をさせてあげようと思いを述べていることについて子どもたちのことを尊重してくださり嬉しいです。この話し合いにはすごく大事だということに少しずつ気づいてきました。この経験を活かして学校での勉強にいかしていきたいと思います。貴重な体験をありがとうございました。素晴らしい経験になりました。

・ぼくは、今日の市議会見学で思ったことは、話し合いの最初に原稿とかを準備しておいてから、話し合いをしてスムーズに話し合いを進めていくのがいいたと思います。また、話す人が、手をあげてから発表をしていていいとおもったし、自分たちの生活とかにも関係していることをしって、市で話し合う事は大事なだと分かりました。話し合いで、喧嘩とか言い

・私は議会見学で、一人一人が役割を持ち、代表の質問に対して、答えていったりとし、条例や、提案などが生まれてくるということがわかりました。他にも、市民の願いや案も取り入れているということがこの見学でわかりました。教科書を見るだけでは、市民の案などを通して、話し合いをしている場所だと思っていましたが、議員のみなさんが真剣に、自分たちの暮らしや対策などについて話し合っているのを見て、とても大きな役割をしている場所だと感じました。みなさんが自分たちのことについて真剣に考えてくれたりしているの、私もちゃんと18歳になったら、選挙に行つて、一人ひとりの意見をしっかりと聞き、大切な1票を投票したいと思っています。



・わたしは、議員の方が、多くの議題を話し合っていたからすごく大変だと思いました。実際に議会を見てみると、質問されたときに、一つ一つ丁寧に説明したり、答えたりしていたからすごいなと思いました。特に、関心を持ったことは、滑川産業フェスです。体験できる職がたくさんあったし、産業のことをもっと知れるから、わたしもぜひ、参加してみたいなと思いました。あらためて、この見学で、議員という仕事はとても大変だということがよく分かりました。市民の代表として話し合ってくれているから、とても感謝したいです。

・私が市議会を見学して感じたことは、あまり聞かない言葉がよくわからない、知らない言葉が飛び交っていて途中から何を話しておられるのか分からず混乱したことです。しかし、滑川市議会議員の方はスムーズに議論されており、すばらしいと感じました。また、ここで滑川市のようなことが決まっているのだなと思いました。あのマイカーとよぶマイカーのネーミングの話も市議会ですのだと思います。驚きました。

・自分が知らないところで市をより良くするために会議をしているのを初めて知ったので、前より興味をもてました。市議会議員の方や市役所の担当者の方が、意見と意見をずっとかわしていたのですごく熱心だなと思いました。

・僕は、滑川市役所の市議会を見学してみ、様々な滑川市の問題やお金、消防団を何人増やすのか、道路工事など様々な問題が議題にあり、滑川市が様々な問題を抱えていることを知りました。また、消防団のPR動画作成や補助金を消防団にどのように使うかなどの質問が出てきて、「滑川市も頑張っているのだな」と思いました。市議会の見学を通して、「議員さんも市のために頑張っているのだ、自分もこれから頑張ろう」と思いました。



◎誌面の都合上、掲載できなかったものについては以下のQRコードよりご覧いただけます。



北海道豊頃町議会の皆さんが 滑川市へお越しになりました

豊頃町と本市は、昭和59年に姉妹都市を締結しており、親善交流を図ることを目的に、それぞれの議会で交互に訪問を行っています。

今年度は豊頃町議会のみなさんが本市を訪問される年であり、令和8年4月15日（水）に議員9名と事務局の皆さんがお越しになりました。

本市議会は昨年11月に改選しており、訪問交流では新たな議員の顔ぶれのもと、自己紹介を行いました。

また、今回の訪問では行政視察も兼ねてお

られたことから、本市議会の議場システムに對する説明のほか、意見交換会や議場見学が行われました。

その後、ほたるいかミュージアムに場所を移し、ミュージアムの見学をされたのち、本市をあとにされました。短い時間ではありましたが、姉妹都市間の交流を深め、大変有意義な時間となりました。なお、令和9年度は本市議会が豊頃町を訪問する予定です。



豊頃町議会から

中村純也 議長、坂口尚示 副議長、大谷友則 議員、大崎英樹 議員、藤田博規 議員、杉野好行 議員、岩井 明 議員、後藤孝夫 議員、小笠原玄記 議員、山崎勝巳 事務局長、佐藤 尚志 係長
がお越しになりました。

9月定例会が下記の予定で開催されます

日	時間	摘 要
8月31日（月）	10時	会期の決定、提案理由説明、補足説明
9月7日（月）	10時	代表、一般質問
8日（火）	10時	一般質問
9日（水）	10時	総務文教消防委員会
10日（木）	10時	産業厚生建設委員会
14日（月）	10時	決算特別委員会
15日（火）	10時	決算特別委員会
16日（水）	10時	決算特別委員会
18日（金）	10時	決算特別委員会
25日（金）	11時	委員長報告、質疑、討論、採決

議会報編集委員会から

「市議会だより」について、皆さんのご意見をお寄せください。

市議会の本会議は、ケーブルテレビで放送していますが、議場で直接、傍聴してみませんか。

詳しくは、事務局までご連絡ください。

電話 47512120

【議会報編集委員】

吉森 真人 委員長 谷崎 潤一 副委員長
高橋 悟 委員 藤田 紀子 委員
高川 正樹 委員 尾崎 照雄 委員
古沢 利之 委員